

# 一般廃棄物最終処分場

まもろう わたしたちの環境 みんなの未来

西濃環境整備組合

# 一般廃棄物 最終処分場は このように 完成しました



## 杭打ち施工状況

(平成26年5月)

貯留槽の基礎下には、PHC  $\phi 600$  L=19mの杭703本が、堅固な地盤まで打ち込まれ、建物の沈下と地震による倒壊を防止します。



## 基礎工事施工状況

(平成26年11月)

貯留槽の基礎は、厚み1.6mあり、基礎の重量だけでも約10,700tあります。



## 屋根面太陽光施工状況

(平成27年10月)

貯留槽の上屋の屋根面には、屋根一体型の太陽光システムが設置されています。発電量は、49.68KWであり、全量売電をしています。



## 鉄骨建て方施工状況

(平成27年8月)

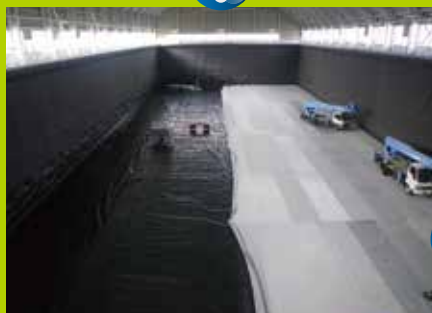
貯留槽の上屋となる鉄骨は、アール状の梁で構成され、鉄骨の総重量は、240tあります。鉄骨建て方は120t級の大型クレーンにて行いました。



## 大型型枠による貯留槽壁 施工状況

(平成27年4月)

何度も利用可能な鉄製型枠パネルを接続した大型型枠(新省エネ工法)にて、コンクリートを一度に高さ8.5mまで打設することで水密性の高い構造にしています。



## 貯留槽内しゃ水シート施工状況

(平成27年12月)

貯留槽の壁・床には、浸出水の地下への浸透を防ぐため、しゃ水シートが施されています。床は、しゃ水シートを2重とし、入念にしています。



## 斜路施工状況

(平成28年2月)

西濃環境保全センターで、処理された焼却飛灰をダンプで運搬する搬路です。搬路は、耐久性に優れた鉄筋コンクリート造になっています。



## 貯留槽内床保護砂(スラグ)入れ 施工状況

(平成28年3月)

しゃ水シートの保護を目的とした砂(スラグ)を貯留槽床に全面敷き込みます。保護砂(スラグ)は、西濃環境保全センターから発生したスラグを使用しています。

# 完成



## 施設配置図

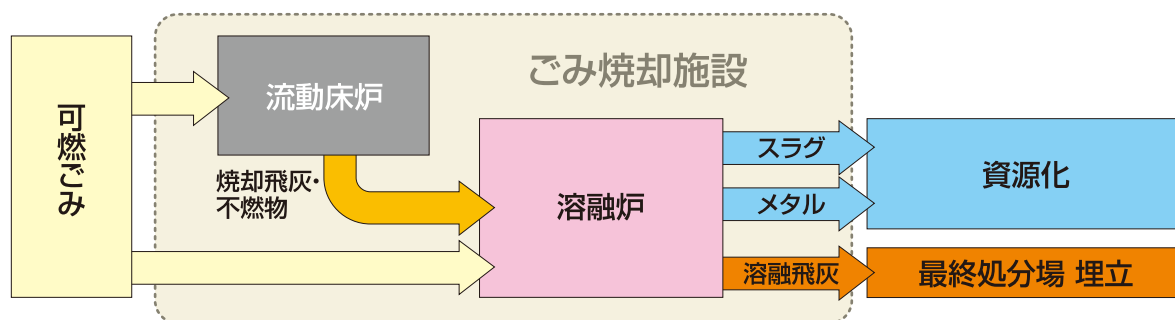


## 施設概要

|       |                     |                                      |              |
|-------|---------------------|--------------------------------------|--------------|
| 施設名称  | 一般廃棄物最終処分場          |                                      |              |
| 事業費   | 1,434,240,000円      |                                      |              |
|       | 内訳                  | 建築工事部門                               | 986,040,000円 |
|       |                     | 土木工事部門                               | 448,200,000円 |
| 財源内訳  | 国庫補助金               | 396,574,000円                         |              |
|       | 起債                  | 400,000,000円                         |              |
|       | 一般財源                | 637,666,000円                         |              |
| 施設規模  | 形式                  | 被覆型最終処分場(クローズド型)                     |              |
|       | 埋立面積                | 2,400㎡(30m × 80m)                    |              |
|       | 埋立容量                | 19,200㎡(2,400㎡ × 8m)                 |              |
|       | 埋立対象物               | 焼却飛灰、不燃物                             |              |
|       | 埋立期間                | 平成28年4月～平成43年3月(15年間)                |              |
|       | 貯留構造物               | S構造(1階) + RC構造(地下1階)                 |              |
|       | しゃ水工                | しゃ水シート                               |              |
|       | 水処理                 | 凝集沈殿 + 砂ろ過<br>(既設焼却炉の水処理設備を利用して炉内噴霧) |              |
| 事業主   | 西濃環境整備組合            |                                      |              |
| 設計・監理 | 一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター |                                      |              |
| 施工    | 建築工事                | 西濃・丸平特定建設工事共同企業体                     |              |
|       | 土木工事                | 西濃・山辰特定建設工事共同企業体                     |              |
| 工期    | 着工                  | 平成25年11月7日                           |              |
|       | 完了                  | 平成28年3月31日                           |              |

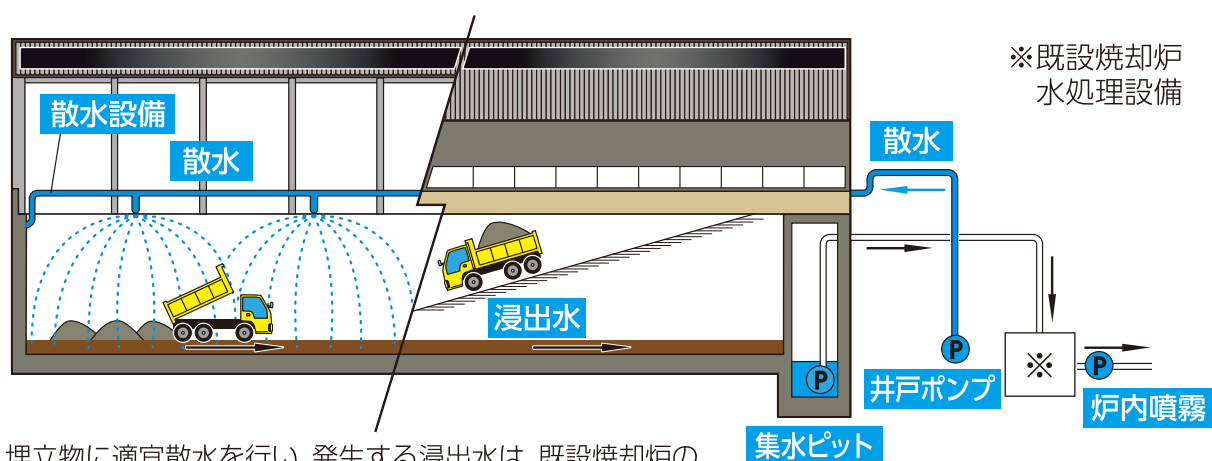


## ごみ処理の流れ



- ① 各市町から搬入された可燃ごみは、西濃環境保全センター（ごみ焼却施設）内の流動床炉と熔融炉にて処理しています。
- ② 熔融炉では、流動床炉の焼却後に発生する焼却飛灰、不燃物を可燃ごみと併せて熔融します。
- ③ 熔融後に発生するスラグ、メタルは資源化し、熔融飛灰は薬剤により安定化・無害化して最終処分場に埋立します。

## 最終処分場のフローシート



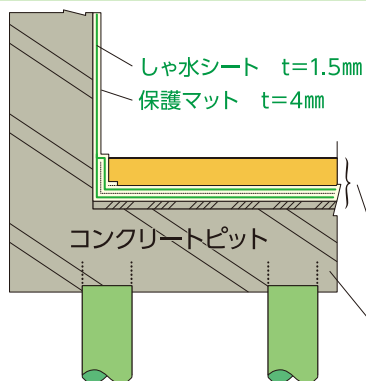
埋立物に適宜散水を行い、発生する浸出水は、既設焼却炉の水処理設備で浄化後、冷却水として焼却炉内に噴霧します。

## 内部写真



# 施設の特徴

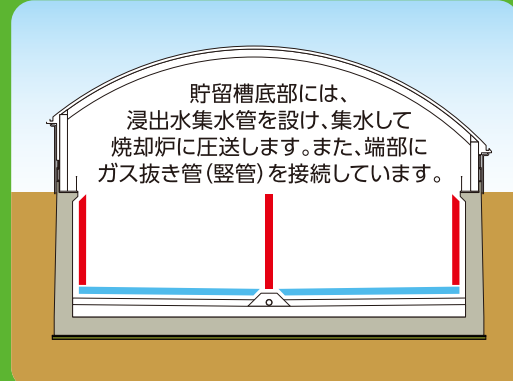
## しゃ水構造



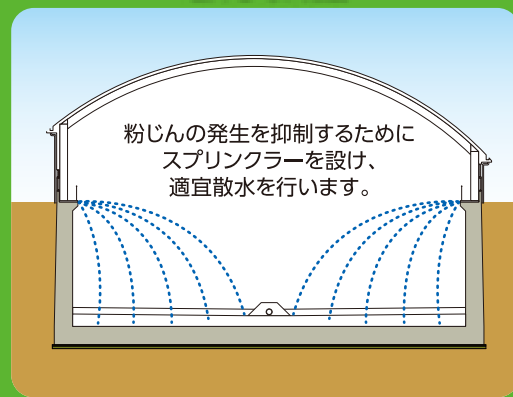
浸出水の地下への浸透を防ぐため、しゃ水シートを設置しています。なお、しゃ水シートの保護砂には西濃環境保全センターのスラグを使用しています。

シート保護砂(スラグ)  $t=500\text{mm}$   
保護マット  $t=10\text{mm}$   
しゃ水シート  $t=1.5\text{mm}$   
保護マット  $t=10\text{mm}$   
しゃ水シート  $t=1.5\text{mm}$   
底盤コンクリート  $h=1600\text{mm}$

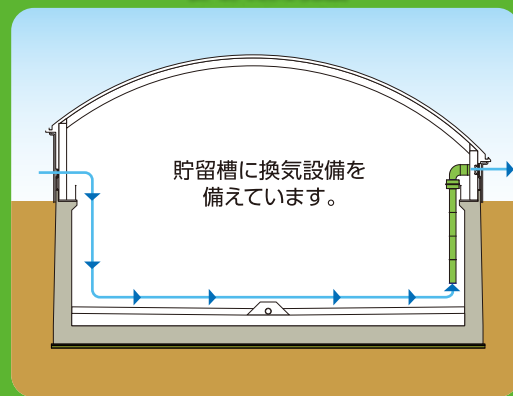
## 浸出水集水管・ガス抜き管



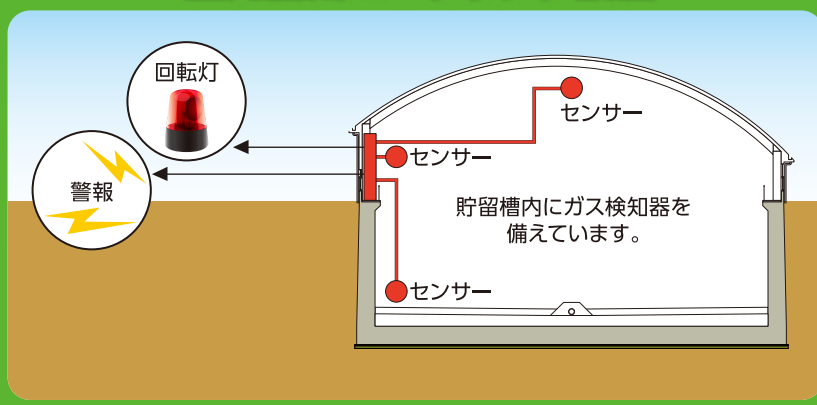
## 散水設備



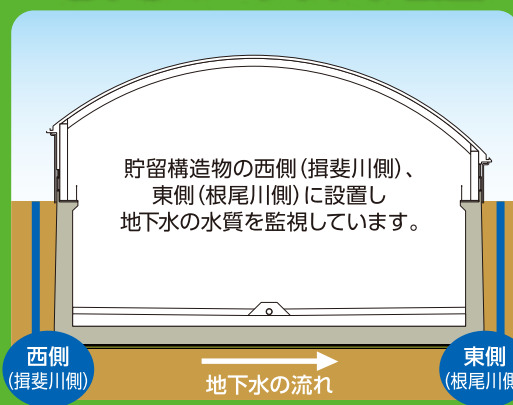
## 換気設備



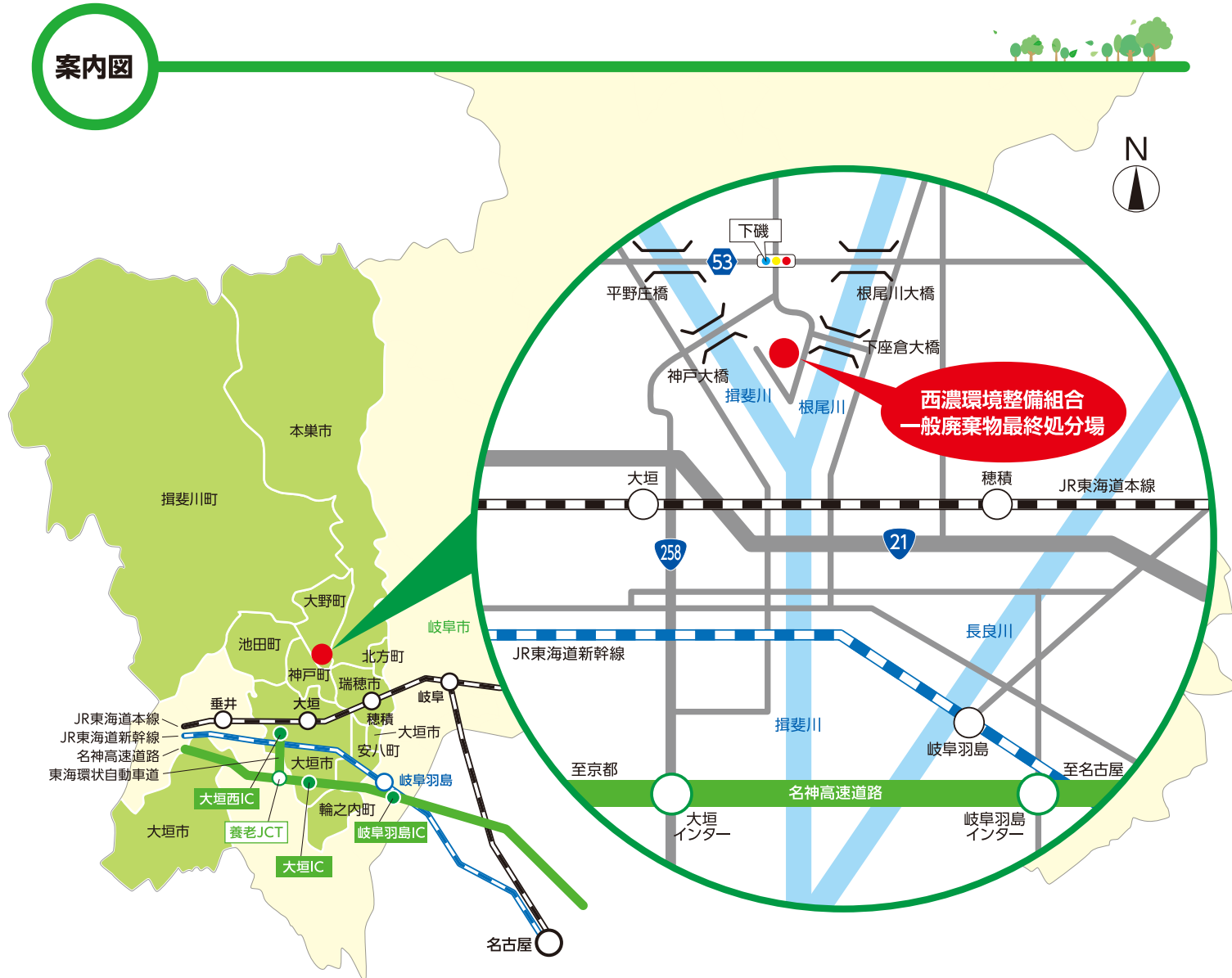
## 室内空気モニタリング設備



## 地下水モニタリング設備



## 案内図



## 事業主体

### 西濃環境整備組合

〒501-0534

岐阜県揖斐郡大野町大字下座倉1375-1

電話 (0585) 32-4153

FAX (0585) 32-4154

<http://www.seino-kankyo.jp>

### 西濃環境保全センター

〒501-0534

岐阜県揖斐郡大野町大字下座倉1375-1

電話 (0585) 32-3963

FAX (0585) 32-4860

### 構成団体

大垣市 瑞穂市 本巣市

安八郡(神戸町・輪之内町・安八町)

揖斐郡(揖斐川町・大野町・池田町)

本巣郡(北方町)

### 屋内温水プール ゆ〜みんぐ

〒501-0534

岐阜県揖斐郡大野町大字下座倉1451-3

電話 (0585) 32-4682

FAX (0585) 32-4157

<http://www.seino-kankyo.jp/yuming/>